



Expert Testing and Calibration at Your Service

EMC
SAFETY
CALIBRATION

製品の適合性評価を通じて 社会の発展に貢献します

製品を世の中に送り出すためには世界各国の安全基準を満たす必要があります。
私たちアイピーエスの使命は、高品質で確実な EMC 試験・製品安全試験・環境試験を提供し、
お客様が迅速かつ安心して製品を市場に送り出せるようサポートすることです。
アイピーエス (IPS) の I は「International」、P は「Product」、S は「Safety」の意義があり、
常に国際的視野を持ち社会の発展に貢献するという想いが込められています。

Company Overview

会社概要

社名	株式会社アイピーエス IPS Corporation
設立	1992 年 6 月 1 日
本社	長野県上伊那郡辰野町小野 1878-1
代表者	永原 靖幸
資本金	3,400 万円
従業員	42 名 (2024 年 9 月 1 日現在)

Business Overview

サービス概要

電磁両立性 (EMC) 試験 および 申請代行業務
製品安全性試験 および 申請代行業務
EMC 関連機器校正 (アンテナ類, レシーバ等の認定校正)

私たち株式会社アイピーエスは1992年、日本の中心・長野県辰野町で
「EMC問題の解決を通して健全な社会の発展に寄与したい」
との思いを持ち産声をあげ、親会社を持たない純粋な第三者試験所として
一步一步実績を重ねてまいりました。

技術の発展とともに新たな製品が生まれ、製品を使用する状況も変化し
続けます。電子・通信機器はそれが顕著であり、情報・人・物のコミュニケ
ーションとそれらの機器の安全性が重要になります。

アイピーエスはEMC、製品安全試験等の安全性評価サービスを通じて
地球上の人々の生命、財産、安全そして環境を守り、互いに理解、協力、協調
しあえる社会の実現を目指しています。

代表取締役社長 永原 靖幸

Expert Testing and
Calibration at
Your Service

Our Facilities

試験所所在地

本社・長野 EMC センター

〒399-0601
長野県上伊那郡辰野町小野 1878-1
TEL : 0266-44-5200
FAX : 0266-44-5300

押野試験棟 (耐水試験)

〒399-0601
長野県上伊那郡辰野町小野押野 2555-1
TEL : 0266-44-5005



本社・長野 EMC センター



東京校正センター

Nagano

Tokyo

Chiba

Kanagawa

Nagoya

to Osaka

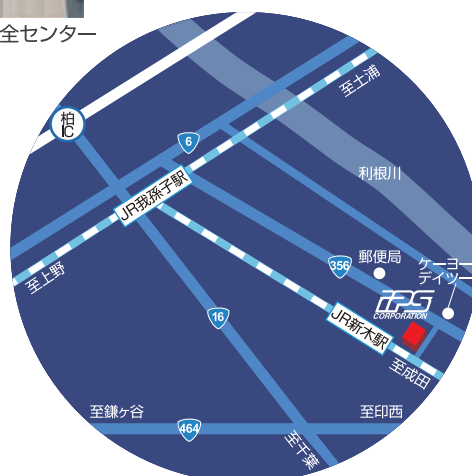


新横浜安全センター



新横浜安全センター

〒224-0045
神奈川県横浜市都筑区東方町 345-4
TEL : 045-595-9380
FAX : 045-595-9381



東京校正センター

〒270-1101
千葉県我孫子市布佐 935
TEL : 04-7187-7311
FAX : 04-7187-7312

Overview

アイピーエスのサービス・資格



Services

Services サービス

EMC試験

測定・制御・試験所用機器をはじめ、医用電気機器、産業機器、船舶用航海装置など様々な製品の試験に対応、各種国際規格に基づく試験を長野 EMC センターにて提供いたします。同センター保有の 10m 法電波暗室は、耐荷重 5 t・直径 5m のターンテーブルと、18kVA が供給可能な交流電源を保有しており、大型機器を他の試験施設へ移動することなく全ての試験がワンストップで対応可能です。

製品安全試験

医用電気機器、体外診断装置、計測分析装置、産業機械装置及び情報技術装置など様々な製品の評価サービスを新横浜安全センターにて提供いたします。特に医用電気機器規格は VLAC(電磁環境試験所認定センター) 初の製品安全試験所として ISO/IEC 17025 の認定を取得しており、電気手術器(電気メス)や細動除去器(AED)など多くの対象製品が個別規格として認定されています。

測定器校正

2000 年 12 月、米国 NVLAP により ISO/IEC 17025 に基づく校正機関として認定されました。米国 NVLAP からの校正機関の認定としては当時では国内初となります。長年に渡り培ってきた高周波分野における経験を基に、校正エンジニアが日々ご利用になる測定・試験装置の校正サービスを提供いたします。

各国認証・申請代行サービス

欧州、北米、南米、韓国、アジアなどの各国及び認証マークの申請代行サービスを行っております。製品認証取得を検討の際はご相談ください。

Qualifications 資格

iNARTE EMC Engineer/Technician, PS Engineer

国際無線通信技術者協会 iNARTE(International Association for Radio, Telecommunications and Electromagnetics) による EMC・製品安全の技術資格を有した専門エンジニア、テクニシャンが、豊富な実績と経験を元に質の高い各種サービスを提供いたします。

規格開発エキスパート

“国際規格、国家規格、団体規格、社内規格等の規格の開発に関する専門的な知識を有し、それらに参画する力量を有する者”として日本規格協会グループ 一般財団法人 日本要員認証協会 標準化人材登録センターより与えられた資格であり、規格や標準づくりの専門家として標準化活動を担っています。



認定・認定規格 (ILAC*1, APLAC*2 加盟機関による適合性評価システムに基づく)

*1 ILAC: 国際試験所認定協力機構 *2 APLAC: アジア太平洋試験所認定協力機構

アイピーエスは良好な専門職業務及び試験・校正の品質を守るために、ISO/IEC 17025、NIST Handbook 150 及び試験規格、関連する法規制及び適用基準を遵守しております。国際的に認められた技術で信頼性のあるサービスを提供しております。



■JAB EMC 試験分野

認定番号: RTL00010

公益財団法人日本適合性認定協会 (JAB) より日本で初の EMC 試験所として 1997 年 9 月に認定されました。

Scope: EMC試験(長野EMCセンター)

民生機器, 産業機器等

CISPR 11/14-1/14-2/15/22/24/32/35, CISPR 16-2-1/2-2/2-3, J55014-1/55015/55032(CISPR J 32), EN 55011/55014-1/55014-2/55015/55022/55024/55032/55035/50270, EN 55016-2-1/2-2/2-3, VCCI 技術基準, VCCI-CISPR 32, IEC/EN IEC 61326-1/2-1/2-2/2-3/2-6/3-1, JIS C 61326-1/2-3/2-6, IEC/EN IEC 61000-6-1/2/3/4/8, IEC/EN/JIS C 61000-3-2, IEC/EN 61000-3-3, IEC/EN 61000-3-12/3-11, IEC/EN 61547, IEC/EN/JIS C 61000-4-2/3/4/5/6/8/11, IEC/EN 61000-4-13/4-29/4-39, EN 301 489-1/3/14/17/22, KS C 9811, KS C CISPR 22, KS C 9832, KS C 9816-2-1/2-3, KS C 9610-6-1/-2/-3/-4, KS C 9610-3-2/-3, KS C 9610-4-2/3/4/5/6/8/11, ICES-003

US-Japan MRA

ANSI C63.4-2014, FCC Method 47 CFR Part 15 Subpart B (Up to 40 GHz)
FCC Method 47 CFR Part 18, FCC OST/MP-5 (February 1986) (Up to 40 GHz)

医用電気機器: EMC試験

IEC/EN 60601-1-2, JIS T 0601-1-2,
IEC/EN IEC 60601-2-2, JIS T 0601-2-2, IEC/EN 60601-2-4, IEC/EN 60601-2-10, JIS T 0601-2-10,
IEC/EN 60601-2-18, JIS T 0601-2-18, IEC/EN 60601-2-24, JIS T 0601-2-24, IEC/EN 60601-2-25, JIS T 0601-2-25,
IEC/EN 80601-2-26, IEC/EN 60601-2-27, IEC/EN IEC 80601-2-30, IEC/EN 60601-2-34, IEC/EN 60601-2-37,
JIS T 0601-2-37, IEC/EN 60601-2-40, JIS T 0601-2-40, IEC/EN 60601-2-47, JIS T 60601-2-47, IEC/EN 80601-2-49,
IEC/EN 60601-2-52, JIS T 9254, ISO/EN ISO/JIS T 80601-2-55, ISO/EN ISO 80601-2-56, IEC/EN IEC 80601-2-77,
IEC/EN IEC/JIS T 80601-2-78, ISO/EN ISO/JIS T 80601-2-61, IEC TR 60601-4-2, IEC TS 60601-4-2

医用電気機器: EMC試験を除く*3

IEC 60601-1-2:2014(第4版), IEC 60601-1-2:2014+A1:2020(第4.1版),
EN 60601-1-2:2015(第4版), EN 60601-1-2:2015+A1:2021(第4.1版),
JIS T 0601-1-2:2018(第4版同等), JIS T 0601-1-2:2023(第4.1版同等),
IEC/EN 60601-1(8.8.3 耐電圧), JIS T 0601-1(8.8.3 耐電圧)

*3 EMC試験を除くとは?

・リスクマネジメントファイル ・附属文書 (取扱説明書及び技術解説) ・ME機器及びMEシステムの標識・表示 ・試験報告書 ・基礎安全確認等のEMC試験以外の適合性確認のことを指します。
EMD第4版及び第4.1版はEMC試験、文書等の調査、及び基礎安全確認のすべての要求事項の適合性確認を行うことで「規格適合」となります。
長野 EMC センターは、第4版及び第4.1版 EMD 試験に加え、文書の適合性確認業務、基礎安全確認業務 (耐電圧) においても認定を取得しています。
それに伴い EMD 試験、文書等の適合性確認の調査結果、基礎安全確認結果を含めた、ILAC-MRA 複合マーク付きの試験報告書を発行致します。

船用機器

IEC/EN 60945, IACS UR E10, IEC 60533, IEC 60092-504, IEC 62742, JIS F 8076, JIS F 8081, JIS F 0812,
JIS F 0808, IEC/EN/JIS C 61000-4-16, IEC/EN/JIS C 61000-4-17, AMERICAN BUREAU OF SHIPPING,
BUREAU VERITAS, DNV-GL, ClassNK, LLOYD'S REGISTER

■VLAC 製品安全試験分野



認定番号: VLAC-015

株式会社電磁環境試験所認定センター (VLAC) より医用電気機器において安全試験所認定第一号として 2015 年 9 月に認定されました。

Scope: 製品安全試験(新横浜安全センター)

医用電気機器

IEC/EN 60601-1, JIS T 0601-1, IEC/EN IEC 60601-2-2, JIS T 0601-2-2, IEC/EN 60601-2-18, JIS T 0601-2-18,
IEC/EN/JIS T 60601-1-6, IEC/EN/JIS T 60601-1-8, IEC/EN/JIS C 62366-1, IEC/EN 62304, JIS T 2304,

以下は通則と同一内容の項目のみ対象(**: 通則と同一内容の項目に加え201.12項も認定対象)

IEC/EN 60601-2-4, IEC/EN 60601-2-10, JIS T 0601-2-10,
IEC/EN 60601-2-25**, JIS T 0601-2-25**, IEC/EN IEC 80601-2-26, EN 60601-2-26, IEC/EN 60601-2-27**,
IEC/EN 60601-2-34, IEC/EN 60601-2-37, JIS T 0601-2-37, IEC/EN 60601-2-40,
IEC/EN 60601-2-47**, JIS T 60601-2-47**, IEC/EN IEC 80601-2-49, IEC/EN 60601-2-52, JIS T 9254,
IEC/EN 60601-2-66, JIS T 0601-2-66, ISO/EN ISO/JIS T 80601-2-55, ISO/EN ISO 80601-2-56,
ISO/EN ISO/JIS T 80601-2-61, IEC/EN IEC 80601-2-77, IEC/EN IEC/JIS T 80601-2-78

体外診断用医療機器, 測定用・制御用及び試験用電気機器

IEC/EN 61010-1, JIS C 1010-1, IEC/EN 61010-2-081, IEC/EN IEC 61010-2-101, JIS C 1010-2-101

認定(続き)・登録・会員活動



■NVLAP 校正分野

NVLAP Lab Codes: 200012-0(長野校正センター), 200679-0(東京校正センター)

米国 NVLAP により ISO/IEC 17025 に基づき認定された校正機関です。

Scope: 長野校正センター

ホーンアンテナ, ダイポールアンテナ, バイコニカルアンテナ, ログペリオディックアンテナ, バイログアンテナ, ループ/ラージループアンテナ, 静電気シミュレータ, EFT/Burstシミュレータ, サージシミュレータ, 電圧DIPシミュレータ など

Scope: 東京校正センター

EMIテストレシーバ, 電界プローブ, スペクトラムアナライザ, RF信号発生器, ファンクションジェネレータ, パワーメータ・センサ, 磁界メータ, 擬似電源回路網, CISPRパルス発生器, EMクランプ など

■登録



VCCI

登録番号: A-0103

一般財団法人 VCCI 協会(情報処理装置等電波障害自主規制協議会)の登録試験所です。

適合確認届出の為の試験及び試験報告書の発行が可能です。

■会員活動

・一般社団法人 日本医療機器工業会 正会員として参加

(Japan Association of Medical Devices Industries、略称 JAMDI)

日本医療機器工業会は日本の医療の進歩を支える安全な医用機器の供給、及び日本の医療機器製造業界の健全な発展を目的に設立され、医療機器業界の実態調査、各種情報の収集、ISO、JIS等の標準化作業、講習会やセミナーの開催など広く活動しています。

・一般社団法人 日本画像医療システム工業会 正会員として参加

(Japan Medical Imaging and Radiological Systems Industries Association、略称 JIRA)

日本画像医療システム工業会は規格の標準化、医療政策・産業政策に関する調査、情報発信、提言、及び講習会やセミナーの開催などを通して人々の健康と福祉に貢献しています。

・信州メディカル産業振興会 正会員として参加

信州メディカル産業振興会は信州メディカル育成拠点との連携によって、メディカル関連製品の実用化に必要な支援を受け、長野県のメディカル産業の振興に広く貢献しています。

・一般財団法人 日本船舶技術研究協会 賛助会員として参加

(Japan Ship Technology Research Association、略称 JSTRA)

日本船舶技術研究協会は、我が国の船舶産業(造船業及びこれを支える船用工業)及び海運業における国際基準・規格に関し、研究開発と一体的な視野から戦略を構築するなど、海事産業の安全確保・環境保全に取り組んでいます。

会社沿革

1990-

- 1992年 6月 設立。資本金 1,000 万円。長野県上伊那郡辰野町小野 4593
- 8月 オープンサイト竣工 (10m), 長野県上伊那郡辰野町小野 4593 VCCI 入会及びオープンサイト設備登録
- 1993年 1月 オープンサイト米国 FCC ファイリング
- 7月 TÜV ラインランドジャパン任命サイト (No. 50045518) に登録 (2021 年 11 月満了)
- 1995年 12月 米国 NVLAP 試験所認定取得 (NVLAP Lab Code:200012-0, EMI Testing)(2013 年 12 月認定満了)
- 欧州 EMC 指令対応試験業務開始
- 1996年 8月 ISO 9002 認定取得 (TÜV Cert, 2002 年満了)
- 11月 EMC センター竣工, 長野県上伊那郡辰野町小野 1878-1
- 1997年 4月 製品安全性試験・申請代行業務開始
- 7月 資本金を 3,400 万円に増資
- 9月 JAB 試験所認定取得 (No. RTL00010, EMI Testing)
- 10月 SEMKO 業務提携 (2004 年 9 月満了)
- 1998年 1月 オーストラリア NATA 認定取得 (EMI Testing) (2001 年 12 月認定満了)
- 1999年 2月 EMC センター増築。3m 電波暗室, 10m 電波暗室竣工
- 3月 3m 電波暗室, 10m 電波暗室 米国 FCC ファイリング及び VCCI 設備登録
- 6月 DNV EMC 認定取得 (Statement No. 413-1999-LAB15) (2013 年 11 月認定満了)
- 船舶搭載機器試験サービス開始

2000-

- 2000年 12月 米国 NVLAP 認定取得 (NVLAP Lab Code:200012-0, 校正分野)
- EMC 関連機器 (アンテナ類) NVLAP 認定校正サービス開始
- 2001年 2月 英国 DMC 社 (旧 CSL) 業務提携
- EMI レシーバ, スペクトラムアナライザ等 UKAS 認定校正サービス開始 (2004 年まで)
- 2003年 7月 東京校正センターを開設, 千葉県我孫子市布佐 935
- 8月 自動車関連試験事業開始
- 2004年 1月 英国の車両認定機関である VCA より試験所承認取得
- 8月 電波法登録点検事業者として登録, 特殊無線設備の点検業務を開始 (2009 年 8 月登録満了)
- 10月 東京校正センター, 米国 NVLAP 認定取得 (NVLAP Lab Code: 200679-0, 校正分野)
- レシーバ等の EMC 関連機器の認定校正開始
- 2005年 8月 IECCE の CB 試験所 (EMC 試験) 認定取得 (2014 年 9 月認定満了)
- 10月 ベルギーの車両認定機関である Avi(AIB-VINÇOTTE International n.v.) より試験所承認取得
- 10月 東京校正センター, 米国 NVLAP 認定拡大 (校正分野)
- スペクトラムアナライザ, パワーメータ, SG 等の認定校正開始
- 2006年 5月 北小野安全評価センターを開設, 安全環境試験サービス開始
- 9月 JAB 試験所認定に AEMCLRP(米国自動車 Big3 EMC 試験所認定プログラム) 試験追加 (認定拡大)
- 11月 GM社 (米国) 試験所認定取得
- 2008年 7月 Ford 社 (米国) 試験所認定取得
- 2009年 4月 東海 EMC センターを開設, 愛知県安城市根崎町西新切 36-1 自動車関連 EMC 試験サービス開始
- 9月 東海 EMC センター, JAB 試験所認定取得 (No. RTL00010) (2017 年 7 月満了)

2010-

- 2010年 9月 DNV 環境試験認定取得 (Statement No. 76303-2010-OTH-NOR)(2016 年 3 月認定満了)
- 12月 日本医療機器工業会 (JAMDI) に入会。現 EMC 安全委員会に参加, 以後, 継続中
- 2011年 11月 東京安全センターを開設, 神奈川県川崎市川崎区東扇島 6-10 医用電気機器を主とした製品安全性試験サービス開始
- 2012年 2月 環境試験, JAB 試験所認定取得 (No. RTL00010)(2015 年 9 月認定満了)
- 8月 安全環境試験を押野試験棟に移設, 長野県上伊那郡辰野町小野 2555-1
- 12月 東京安全センター, JAB 試験所認定取得。2015 年 VLAC 試験所認定へ変更
- 2014年 10月 社名を株式会社アイピーエス・コーポレーションから株式会社アイピーエスに変更
- 本社住所を長野県上伊那郡辰野町小野 1878-1 に移転登記
- 2015年 4月 日本マリンエンジニアリング学会 電気電子システム研究委員会に参加, 以後, 継続中
- 9月 東京安全センターを新横浜安全センターとして, 横浜市都筑区東方町 345-4 へ移転
- VLAC 試験所認定取得 (VLAC-015)
- 2017年 8月 自動車 EMC 試験事業を分社化し, 新会社「株式会社アイピーエス 東海」が承継
- 11月 「株式会社アイピーエス東海」ビューローベリタスのグループ会社
- 2019年 2月 日本船舶技術研究協会 (JSTRA) へ入会。JIS F 規格改正 WG に参加
- 3月 日本画像医療システム工業会 (JIRA) へ入会。EMC 対策委員会に参加, 以後, 継続中

2020-

- 2021年 12月 本社管理棟竣工
- 2022年 1月 環境試験, JAB 試験所認定取得 (No. RTL00010)
- 大形シールドルーム (第 4 試験室) 完成
- 2022年 6月 創立 30 周年を迎える

試験、校正サービスのベストパートナー

株式会社アイピーエス

本社・長野 EMC センター

〒399-0601
長野県上伊那郡辰野町小野 1878-1
TEL : 0266-44-5200
FAX : 0266-44-5300

新横浜安全センター

〒224-0045
神奈川県横浜市都筑区東方町 345-4
TEL : 045-595-9380
FAX : 045-595-9381

東京校正センター

〒270-1101
千葉県我孫子市布佐 935
TEL : 04-7187-7311
FAX : 04-7187-7312

www.ips-emc.co.jp